

りながら、地元地権者または地元自治会、民間業者と協力し合って、宅地化開発に向けて取り組むことが八百津町にとつても、地元にとつても有益と考えるが、町執行部の考え方伺う。

答（秋松農林課長）

当該区域は、昭和49年から昭和50年に県営畠地帯総合土地改良事業を施行し、農業振興地域の農用地区域として地区の優良農地として耕作されてきました。

農振法では、農用地区域での開発行為は厳しく制限されおり、原則として開発行為はできません。ただし、経済情勢の変動やその他情勢の推移等により、農振除外の判断が必要となる場合は、市町村の農振計画を変更し、開発予定地域を農用地区域から除外することが必要となります。

ご質問の宅地化開発については、具体的な転用計画はあります。個々の農地に係る転用計画について農用地区域以外に代替すべき土地がないなど、要件をすべて満たす必要があり、宅地造成を目的としただけの転用計画だけでは県の同意を得ることは不可能と思われます。

平成27年2月、錦津コミュニティセンターきらりが旧丸根団地跡地に建設され、出張所の所在地が変更になり、農地法では

出張所等の公共施設から概ね半径300メートル以内は、第3種農地、概ね半径500メートル以内が第2種農地扱いとなつております。

第3種農地の転用は原則許可となり、第2種農地を転用するには、農地以外の土地や第3種農地に立地困難な場合等に限られます。農地転用条件は緩和されますが、農振地域に変わりなく、農用地区域以外に代替すべき土地がないなどの要件を満たすことが必要であり、大規模な農振除外はできません。

従つて、個別の農振除外申請に対して農業委員会で十分検討させていただきたいと思います。

### 開発に取り組む姿勢は

問 先日、錦津保育園建設工事の地鎮祭が行われたが、

その時に町長は、南の玄関口のすばらしい土地で子育てしやすい土地だと言われた。伊岐津志地区はトンネルができ、本当に便利がよくなるすばらしい土地になつた。

人口問題は、やはり一番住みやすい町の開発に向けて取り組んでいく姿勢というものがある程度必要ではないかと思う。その姿勢について伺う。

答（金子町長）

当町における宅地化対策

は、重要課題の一つです。昨年開通した八百津トンネルを核として、沿線に新しい錦津保育園の建設をはじめました。そこで、この保育園舎をランドマークとして、魅力ある地域づくりをして、魅了ある地域づくりを目指すことを、その周辺の農地や當農事業者にも影響を及ぼさないよう宅地化対策を行い、将来の定住を図る施策を図りました。

### Q2 「世界の記憶」不採択後の取り組みについて

問 新しい人道のまちをアピールする取り組みは

残念な結果となつたが、色あせることはない。これまで、多くの町民の皆さんに協力していただいた幟やポスターは、今回のことでも撤去されたが、新しい「人道のまち やおつ」をアピールするようなポスターが必要と考える。これらの取り組みについて、町執行部の考え方伺う。

答（山内タウンプロモーション室長）

まことに残念な結果となりましたが、杉原千畝氏の功績が色あせることがありません。この3年間、世界の記憶登録事業を行つたことで、千畝氏の人道道

的行為と貴重な記録を本町から全世界へ発信できることも間違いません。

この顕彰事業は、千畝氏の人道的行為を次の世代へ引き継ぎ、がえのないものです。木曽川の清流、蘇水峡、五宝滝に代表される水と緑の美しい自然環境などの豊かな資源、そして何よりも「杉原千畝の精神を受け継ぐ人道のまち やおつ」として、人道精神の普及・啓発などを通じて人道のまちづくりを推進していくことを改めて表明すること、八百津の子供たちに杉原精神を引き継いでもらう意味を込め、八百津小学校校庭でスカイランタン100個のリリースとプロジェクトマッピングを計画しています。

この人道精神、それに基づく教育などは本町のオンラインの要素であり、「やおつ」と言えば「人道のまち」、「人道のまち」と言えば「やおつ」と想起されるようなまちづくりを町民の皆様とともに目指します。

また、具体的に議員ご指摘のように「人道のまち やおつ」をアピールするようなポスターが必要かと思います。現在、世界の記憶登録を目指した4種類のポスターの在庫があります。

このポスターに新しいキヤチチフレーズを張りつけて「人道のまち やおつ」をPRすることを考えています。商店の皆様には改めて掲示をお願いさせていただきます。

また、本議会の補正予算に八百津地区の商店にある街路灯に設置するタペストリーやギネス

催予定のイベントに合わせて、杉原千畝顕彰事業のイベントを予定しています。

この顕彰事業は、千畝氏の人道的行為を次の世代へ引き継ぎ、命、平和、思いやりの大切さを本町から発信していくことを改めて表明すること、八百津の子供たちに杉原精神を引き継いでもらう意味を込め、八百津小学校校庭でスカイランタン100個のリリースとプロジェクトマッピングを計画しています。

### 山田 勉 議員

### Q1 杉原千畝氏の「世界の記憶」登録の今後の取り組みについて

問 今後の取り組みと原因追求は

先ほどの課長の答弁では不登録の原因はわからない

とのことだが、それでは今後前に進めないとと思う。

古田知事は、以前官邸におられたので、知事に相談するのも一つです。また、当町に来られた北出明氏、ホロコーストの石岡氏、外務省の白石氏、国会議員の先生等に接触し、原因の追究に当たるべきではないか。考

えを伺いたい。

また、本議会の補正予算に八百津地区の商店にある街路灯に設置するタペストリーやギネス

世界記録に挑戦実行委員会が開催予定のイベントに合わせて、杉原千畝顕彰事業のイベントを予定しています。

この顕彰事業は、千畝氏の人道的行為を次の世代へ引き継ぎ、命、平和、思いやりの大切さを本町から発信していくことを改めて表明すること、八百津の子供たちに杉原精神を引き継いでもらう意味を込め、八百津小学校校庭でスカイランタン100個のリリースとプロジェクトマッピングを計画しています。